

目次

提言	1
はじめに	1
当研究会による中央アジアのポジショニング	1
提言	1
1. 総論	1
2. 日本政府がとるべき視点	3
参考	6
第一章 中央アジア流動化の要因としてのイスラム過激派	
—イスラム過激派の活動の抑制を考える— (宮田 律)	9
はじめに	9
1. ソ連解体後の中央アジアの課題	9
2. ウズベキスタンのイスラム過激派の発展過程	11
3. タジキスタンのイスラム復興とその過激化	13
4. アフガン戦争と中央アジアのイスラム過激派	15
おわりに — 中央アジア諸国の矛盾とイスラム過激派、また日本外交への提言	19
第二章 ロシアのアフガニスタン・イラク・イラン政策 (斎藤 元秀)	26
1. アフガニスタン政策	26
2. イラク政策	34
3. イラン政策	40
結語	43
第三章 米ロ関係と中央アジア (松井 弘明)	46
はじめに	46
1. 9.11以前の米ロと中央アジア	46
2. 9.11直後の米・ロ・中央アジアの動向	48
3. 米軍の駐留長期化とロシアの対応	52
まとめ	56
第四章 中央アジアをめぐる中露関係 (岩下 明裕)	59
はじめに	59
1. 上海フォーラムの変容	60
2. 「9月11日事件」後の上海フォーラム	64
おわりに — 新「中央アジア」の胎動	73

第五章 中央アジア諸国の対外政策の新たな展開

—カザフスタンを事例として— (湯浅 剛)	79
はじめに	79
1. カザフスタン対外政策の特徴 — 9.11 テロ事件以前の傾向から	80
2. 対テロ戦争の開始とカザフスタン	82
3. 主要国との関係	86
4. 中央アジア域内外交 — 国境問題を中心に	88
結びにかえて	91